

第9回 ESD 国際交流プログラム参加者

募 集 要 項

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟（UNESCO 憲章の理念に基づき活動している NGO）は、三菱 UFJ 銀行のご協力のもと、ユネスコスクールと持続可能な開発のための教育（ESD）の普及を目的に、ユネスコスクールの高校生を対象に「ESD 国際交流プログラム」を実施します。

今年度は、ドイツ・ハイデルベルグのユネスコスクールとの交流や、フランス・パリの UNESCO 本部訪問等を予定してします。

海外で視野を広げる絶好のチャンスです。海外が初めてでも、この機会に挑戦してみたいという意欲のある高校生を歓迎します。奮ってご応募ください。

主 催 者： 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

協 力： 株式会社三菱 UFJ 銀行

後 援： 日本ユネスコ国内委員会

応募資格：

- ・ユネスコスクール加盟校（※）に在籍する、現高校 1、2 年生にあたる者
（※）・・・応募時に、UNESCO からユネスコスクールの承認を受けている学校
- ・事前研修会を含む全日程に参加可能な者
- ・健康で、現地での研修及び生活に十分に対応できる者
- ・他の国の文化を尊重し、現地の人々と積極的に交流する意欲のある者
- ・帰国後、地域や学校において経験を生かした活動を行う者

なお、現地では必要に応じて、通訳を挟みます。英語力は必須ではありませんが、英語で積極的にコミュニケーションをとろうという意欲がある高校生を歓迎します。

募集人員： 8 名程度（予定）

実施日程： 2019 年 3 月 23 日（土）～29 日（金）
3 月 23 日は東京で事前研修会を行い、24 日出発、29 日帰国予定です。

訪問先（予定）：

- ドイツ・ハイデルベルグ ・ユネスコスクール（ESD に関する取り組みについて交流）
- フランス・パリ ・UNESCO パリ本部 訪問
- ・UNESCO 日本政府代表部 表敬訪問
- ・三菱 UFJ 銀行パリ支店 訪問
- ・世界遺産 見学 等

※現地受け入れ先の事情により、変更が生じる場合があります。

参加費： 主催者側で負担。ただしパスポート取得、現地でのお土産購入に関わる費用は自己負担。

提出書類：

① 課題テーマ：『SDGs のゴール達成に向けて、私にできること』

国連は、2030年までに国際社会が取り組むべき目標として、「持続可能な開発目標（SDGs）」を定めました。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、世界が抱える様々な課題の解決にむけて、各国が取り組んでいます。

SDGs でかかげられている目標について、学校で取り組んだことやあなたが経験したことなどをふまえて、今後を視野にいれ、あなたの考えをのべて下さい。

原稿形式 1,600字以内（題名は字数に含まない）。

Microsoft Word で A4 サイズの白紙（縦）に横書きで2枚以内。

明朝 11 ポイント、余白を上 35 mm、下 30 mm、左 30 mm、右 30 mm とすること。学校名、氏名は裏面に記載。

他事業に応募作品として発表していないもので、日本語のみ受け付け。

② 第9回 ESD 国際交流プログラム参加申込書（様式 A）

③ 学校長の推薦書（様式 B）

※参加者の決定は、主催者および教育関係者からなる選考委員会による厳正な審査によって決定いたします。

応募締切： 2018年11月19日（月）【消印有効】

※応募書類は郵送のみ受け付けます。可否通知は2019年1月中旬発送予定

参加決定者への主な研修課題：

1. （事前準備・プログラム中）各校の SDGs の取り組みや学びについて英語で発表したり、事前に調べた課題テーマについて、現地高校生とディスカッションを行ったりする予定です。（参加決定後、詳細をお知らせします） ※現地でのディスカッションは原則英語ですが、通訳補助が付きます。
2. （事前準備・プログラム中）文化交流の準備及び当日の披露。
3. （帰国後）A4 用紙 1 枚を目安として、報告書を提出。
4. （帰国後）1 回以上の帰国報告会の開催。

参加者の声（第5回報告書より抜粋）

「世界は繋がっている。」ありきたりな言葉だが、この研修を通して私は素直にそう感じた。私は研修以前から ESD に触れる機会が多くあった。どうすればより良い未来に貢献できるのか、そのことだけを考え、学校を通しあらゆるアクションを起こしてきた。だが今振り返ると私の挑戦は、言わば孤独なものだったように思う。私の住む世界、その大きさは限られていた。そのため私のやっていることは間違っていないか、そう思っても答えを導いてくれる人がいない、そんな感覚だった。だがこの研修でそんな思いが一瞬にして晴れる瞬間が何度もあった。メンバーのプレゼンを聞いたとき、ドイツ、フランスの学校で意見交換をしたとき、学校ごとに取り組む内容が違っても目指す目標は同じなのだと思った。そして私自身の取り組みだって、ちっぽけでも意味あるものだったと感じた。日本から遠く離れた地へ来たというのに、そこが「外国」とは感じられなかった。きっとそれは私の住む世界が広がった証拠なのだろう。 高等学校2年（参加当時）Aさん

申込・問い合わせ先

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟事務局 「ESD 国際交流プログラム」担当

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1 朝日生命恵比寿ビル 12 階

Tel: 03-5424-1121

Fax: 03-5424-1126

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟事務局 行

第9回 ESD 国際交流プログラム 参加申込書

ふりがな				性別	男・女	年齢	才
氏名							
生年月日	西暦	年	月	日			
出生地・主な生活地	(日本以外の場合記入)		国	籍			
ふりがな				Tel: ()	-		
現住所	〒			Fax: ()	-		
E-mail							
ふりがな				学	年	年	
学校名							
ふりがな							
学校長名							
ふりがな							
学校住所	〒						
学校 TEL				学校 F a x			
本件担当 教員名				本件 担当教員 E-mail			

私（氏名： _____ 学校名： _____ ）は下記書類と共に ESD 国際交流プログラムに申請します。

※必要書類が全て整っているか○を付けて下さい。

※すべて A4 サイズで提出してください。

- () 課題作文「SDGs のゴール達成にむけて、私にできること」<A4、片面印刷のこと>
 () 参加申込書 (様式A) <A4、両面印刷のこと>
 () 学校長作成の推薦状 (様式B) <A4、両面印刷のこと>

上記申請者のプログラム応募を承認します。

保護者氏名 (_____) 印

<注意> 氏名や学校名は記入欄に書かないでください。また1ページを超えないようにしてください。

- このプログラムに応募した動機は何ですか。

- 国際理解・国際交流・ボランティア活動経験をご記入下さい。

- 学校などの課外活動で、リーダーシップをとった経験があれば書いて下さい。

- 趣味や特技は何ですか？（なぜその活動に興味を持つようになったのか、どのくらいの時間をそれにあてているのか等）記して下さい。

- 将来の夢について述べて下さい。

- 過去に他国を訪問するスタディーツアーに参加したことがありますか

はい (国名: _____ 訪問年: _____ 実施団体 _____)
 いいえ

- 海外渡航経験

あり (_____ 回) (国名: _____)
 なし

- 留学経験又は海外滞在経験

あり (国名: _____ 期間: _____ ~ _____)
 なし

- 語学力 (_____ 語) (資格: _____ 取得年: _____ 年)

ユネスコスクール 学校長推薦書

学校長の責任において、下記のことをプログラム参加者として推薦いたします。

※推薦する生徒の個性や特徴などにも触れていただきますよう、お願いいたします。

※推薦文中で、学校名、生徒名を記載する場合は下記例のように記載をお願いいたします。

（例：恵比寿高校×→当校○、恵比寿花子×→本生徒○）

※生徒氏名、学校名、校長名、記入者名は「様式 B-裏面」に記入してください。

推薦理由

--

様式B—裏面（両面印刷で提出してください）

年 月 日

◆生徒氏名

学校名

学校長名 印

記入者氏名